

## 2021年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 Sing Out Asia  
代表者・役職名 氏名 代表理事 長島大輔

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度)、写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

クロスカルチャートレーニング・ミニキャンプ

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など) 180文字程度まで

1974年から草の根的にアジアの若者との交流を行なってきたが、2000年代に入って参加者の有志から法人化の要望が大きくなつたため、2007年に法人化した。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

SOAのOGで、タイから日本の大学に留学した学生が、2年間の留学中に一人も日本人の友達が出来ず、ずっと留学生同士で行動していたと語っていた。SOAに参加している日本人学生にも意見を聞いたが、イベント等以外で留学生と仲良くなつたことはないという。もしこれが実情だとすれば、現在様々な大学で目標とされている国際化は看板倒れだということではないか。そこで、外国人留学生とSOAの学生が、国・地域を超えた友情を育む機会をつくり、現状を少しでも変えるきっかけにしたいと考えた。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

外国人留学生5名(中国、マレーシア、セルビア、インドネシア、オマーン)、日本人学生6名、SOAのOG1名が参加して、静岡県熱海市・伊東市で1泊2日のクロスカルチャートレーニング・キャンプを行った。クロスカルチャートレーニングは、非言語コミュニケーション等のコミュニケーションエクササイズを中心に行った。また、3か月後にフォローアップのための交流イベントを高尾山で行った。

12月11日 AM:集合、移動、クロスカルチャートレーニング PM:熱海観光 夜:熱海市宿泊

12月12日 AM:伊東市観光 PM:チームビルディング、移動、解散

3月27日 フォローアップのためのイベント(高尾山ハイキング)

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

外国人留学生5名、日本人学生6名の交流イベントを2度実施した。彼らはこれ以外にも、度々連絡を取り合つて、交流を続けている。留学生は、日本の学生と交流し日本の文化に触れることで、日本についての理解を深めることが出来たと思う。また、日本の学生は、留学生との交流を通じて、多様な価値観に触れることが出来たのではないか。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

参加者には、ホームページを見てもらい SOAの活動について知つてもらうようにしたが、中には一人で参加することに不安を覚える者もいた。次年度は、説明会を行うなど、不安の解消に努めたい。また、大学や国際交流サークルを通じて広く広報し、より多くの参加者を募り、イベントを盛り上げたい。プロジェクトが回数を重ねることができたら、過去の参加者全員に呼びかけて、全体で交流イベントを開ければとも考えている。

### 7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。



# Cross-Culture Training Camp 2021

IN ATAMI, JAPAN

DECEMBER

11-12

Join us for 2 days of adventure!  
Participation fee is 3000 yen.

- \*Build friendships between Japanese and international students through cross culture activities
- \*Know more about Japanese culture through the sightseeing at Atami Resort in Shizuoka

\*We are preparing for countermeasures against COVID-19

## Joining Qualifications

- Foreign students who live in around Tokyo!
- Foreign students who want to interact with Japanese students!

>>For application & Questions,  
please contact us by email "singoutasia@gmail.com"

Organized by



Instagram  
soaindonesia



Sponsored by MRA Foundation & Shinnyo-en / MRAハウス&真如苑助成事業

# CCT mini Camp

## @Atami & Mt. Takao

### 活動報告書



## 活動概要

2021年12月11日～12日の1泊2日、静岡県熱海・伊豆エリアにてクロスカルチャートレーニングCCTミニキャンプを開催した。12人の参加者は、「短期間で国籍を超えた友情を築く」ことを目的として小旅行イベントを満喫した。顔を合わせたばかりの参加者だが、初日のCCTを通して緊張はほぐれたようで、その後のMOA美術館見学や熱海銀座商店街散策では参加者同士が交流を楽しんでいた。2日目は伊東エリアへ場所を移し、東海館見学やみかん狩りを行った。参加者は、日本の建造物やお風呂文化について学んだだけでなく、みかん狩りでは日本人学生、留学生共に初めて体験するという参加者が多く、静岡ならではのアクティビティを味わうことができた。

また、2022年3月27日には、高尾山でリュニオンイベントを開催した。高尾山観光、トリックアート美術館、温泉を満喫した。12人のうち6人しか参加できなかったが、キャンプで培った友情を再確認するよい機会になった。

# 参加者の声

昨今コロナ下で海外渡航が制限されてきた中、参加者は今回のような通文化的交流の機会を得られたことに非常に高い満足度を示している。よくある形式ばった国際交流イベントとは異なり、電車の待ち時間に話したり、写真を撮り合ったりする気軽な国際交流は日常の友人関係を反映しているようで居心地が良かったようである。

多種多様な感想の中で多くが共通して挙げていたことがクロスカルチャートレーニング(CCT)の担うアイスブレイクとしての役割である。初対面の人間が一泊二日で仲良くなるという時間的制約を無事打破できたのは、初日にCCTをやることでお互いのことを知れたからという声が多かった。

参加者は次回以降のミニキャンプやこれからのプライベートでのさらなる友情の発展に期待を顕にしている。

